

◆経済倶楽部講演会第4274回（1月25日）

# 中国のハイテク産業・イノベーション教育と 日中連携の課題

会津大学副学長、教授  
程子学

- \* 改革開放後の発展
- \* ハイテクが経済を牽引
- \* プラットフォーム型の強み
- \* 「キヤッチシューバリューレス」の時代
- \* 日中産業の比較
- \* 第5世代をリード
- \* 「双创」政策を強力に推進
- \* 日本と中国、産業の強みと弱み
- \* 日中連携の課題
- \* 「人財」養成の会津大学



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は会津大学の程子学先生においていただき  
ました。先生は1957年にハルピンのお生  
まれで、87年に東北大学に留学され、大学院で  
博士課程を修了された後、会津大学の講師とし  
て就任され、現在は副学長兼教授をされておら  
れます。

今日は中国のハイテク産業とイノベーション  
教育のお話をされ、日中の連携についてはどう  
いう課題があるか、また最後には会津大学の取  
り組みについて触れられます。米中の問題とか  
日中の問題とかございますが、中国のハイテク  
がたいへんな発展を遂げているのは皆様ご存じ  
のとおりです。しかし、中国の現場の状況につ  
いてはわれわれも情報が不足しております。そ

れで、今日はそういったことをお話しいただき、  
ハイテク産業の今後についても触れていただき  
ます。それでは程先生よろしくお願いいたしま  
す。（拍手）

## 改革開放後の発展

程 皆様こんにちは。

今日はこのような機会をいただきまして本当  
にありがとうございます。この時間を使いまし  
て、中国のハイテク産業、イノベーション、日  
中連携について、できる限り皆様に情報を提供  
して、楽しく過ごせればと思っております。

先ほどご紹介がありましたのが、少し補足をさ  
せていただきます。私は中国ハルピン生まれ、  
昭和62年留学生として東北の仙台にきました。